

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.2.4 水素燃焼)

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料2-3
提出年月日	令和5年6月6日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
230302-18	1	比較表3ページ) 重大事故等対策に必要な要員として中央制御室の運転員及び災害対策本部要員で構成される9名について、他社の人数や作業内容を踏まえ相違理由を充実し説明すること。	R5.3.2	回答済	R5.3.27 ヒアリング	シングルプラントとツインプラントによる要員数の相違を除けば、状況判断等に対応人数に若干の差が生じている部分はあるものの、対応内容、要員数ともに同等となっている。本内容を踏まえて相違理由を充実させた。	第477回ヒアリング 資料4-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.4 水素燃焼 (SAE724-9 r.6.0)』 p.3	
230302-20	2	比較表20ページ) 炉心溶融開始時間及び原子炉容器破損時間が泊と大飯・高浜で時間差が生じている理由を説明すること。	R5.3.2	回答済	R5.3.27 ヒアリング	炉心溶融開始時間に関しては、炉心における蒸気冷却が大きく影響を与える。結果として泊の炉心における蒸気冷却が小さいため炉心溶融開始時間が早くなっているが、これは大飯・高浜とプラントパラメータの差異によるもので、その時間差は小さい。 一方、原子炉容器破損時間に関しては、泊の炉心における蒸気冷却が小さいため水位の低下が遅く、その後の事象進展も遅くなり、結果として原子炉容器破損時間が遅くなっている。	—	
230302-22	3	比較表 添7.2.4.11-3) MCCIの感度解析について、PWRとBWRの解析条件の相違について確認し、説明すること。	R5.3.2	本日回答		PWRとBWRのMCCIの感度解析条件を確認した結果、添付資料7.2.4.11の別紙に溶融炉心からプール水への熱流束を保守的に考慮する場合の感度解析に関して追記しました。	資料2-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.4 水素燃焼 (SAE724 r.9.0)』 ■添付資料7.2.4.11 別紙 資料2-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.4 水素燃焼 (SAE724-9 r.8.0)』 ■添付資料7.2.4.11 別紙	

*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。